

ねらい

今年度の「総合的な探究の時間」における学習成果の発表の場を設定することにより、他者からの批評・助言による相互の省察の濃い会を設け、取り組みへの意義を深化させ、探究活動における学びの質的向上、並びに基礎学力向上をめざし協働して学ぶ生徒の主体的な態度を育成する基盤を協創する。

場所:2号館各教室および会議室

1・2階:1年1組,2年 3階:1年2~5組

時間:1~4限 8:35~12:25 (朝読・5・6限 無し)

第1部 8:35~10:50 全体発表 ※保護者にはインスタで第1部から配信

第2部(外部にも公開) 11:00~12:35

	テーマ設定	活動形態	発表内容・指導上の課題
1-1	興味・進路	個人	<p>発表内容 個人の興味関心からテーマを設定させているため、バリエーションに富んだ内容</p> <p>指導上の課題 各個人の進捗にばらつきが生じやすく、介入のタイミングや内容が判断しにくい</p>
1-2 ~5	市提供テーマ 公共交通 環境教育 健康管理 化石資源 生物多様性 高校改革 国際比較	班 教員割振	<p>発表内容 市から与えていただいた情報から課題を設定し問題点を見つけ出し、それについての自分なりの解決案をデータをもとに発表します。</p> <p>指導上の課題 自ら問題点を見つけ出し解決策を見つけ出すことを目指したが、時間の都合上、教員が提示したミッションに対するデータを調べた内容を発表します。 実態に則した評価観点として、提案の内容より「どれだけ考えたか」に重点をおいた評価を希望します。</p>
2-1	地域・興味	班 一部個人	<p>発表内容 地域課題を探究のテーマの柱として、生徒の興味・関心に従って具体的テーマの絞り込みを1学期に行った。2学期からは1学期に決定した課題研究のテーマに従って12班に分かれて探究活動を行った。今回はこれらの12のテーマに従って各班が発表する。</p> <p>指導上の課題 (1) 課題研究テーマの絞り込みを、1年次3学期にできれば2年次2学期末に課題研究の成果をまとめられる。 (2) 2年次2学期末にまとめる課題研究の成果物を具体的に示して、生徒達にゴールのイメージを持たせる。</p>
2-2 ~5	興味・進路	個人・班 (自由)	<p>発表内容 自分の興味関心に応じて、自分の将来したいことや進路について探究したことを発表する。また、内容に縛りを設けていないため、自由にテーマ設定している。</p> <p>指導上の課題 1学期末の中間発表から更に考察を深める作業を経て12月の発表を行った。多様なテーマの中で生徒たちの「したいこと」を尊重して指導をしたが、まだまだ深められるのではないかと思う。「問い」の設定にもっと時間を使うべきであった。</p>
3-1 3-2 ~6	2年次から 継続 興味・進路	個人	<p>発表内容 知の探究コースと一般クラスより各1名の代表者による発表。探究活動の過程を通じた学びを語る。</p> <p>成果と課題 知の探究コースでは、2年次までに取り組んできた内容を英語で伝えることを目標に海外連携校との交流にも取り組み英語力を高めた。一般クラスでは、テーマ設定から成果物作成までの過程を経験させることができた。</p>

Ⅰ 準備物 *Wi-Fi ルーター 2台(ZOOM用・インスタ用)

会議室:放送の配線(各クラスへの放送に利用)

PC3台(配信用ホスト, 発表用, 確認用), HDMI ケーブル1本, PJI 台, ZOOM 配信セット,
ヘッドセット2つ, ドラムロール(延長コード), トランシーバー

各教室:ZOOM に接続するために必要な端末 1 台(surface を配布)

発表資料データ(各班・個人で準備),

1・2階各教室:評価シート(生徒用・教師用)

3階各教室:評価シート(教師用), 付箋・模造紙(各教室 2 枚)

選択 238:TVI 台(図書室より移動), iPad 接続コネクタ各1本

各担当一覧

第1学年		第2学年		第3学年	
廣内 健人	1-3	梶村 康人		土井 敬子	
松本 修子	2階	西本 秩抄	1階	芦田 悠	
一原 直之	1-2	田村 徹	2-2	高槻 かずみ	
坂本 秀史	選 238	大槻 民久	2-3	牛尾 太郎	
松藤 睦子	1-4	松本 弘輝	2-4	浅田 順子	
清水 幹郎	1-5	松山 典章	2-5	原 孝拓	
吉良 太誠	1-1	磯 太貴	3-2	河野 宙	
				尾花 尚史	
総務広報部		教務部		進路指導部	
辻野 彰一		和田 好史		瀬川 明宏	
白井 英文	記録	佐竹 靖史	配信	田中 浩	2-1
中塚 美幸	選 212	久保 哲成	会議室	佐藤 英朗	3-4
西村 一真	3-6	土元 優一	会議室	小林 俊彦	3-1
徳永 優子	放送	前田 まどか	講師対応		
生徒指導部		カリキュラム開発専門家		非常勤講師	
遠藤 郁男		鴻谷 佳彦	講師対応	高松 昭彦	1-1
太田 雅弘	3-5	一宮 祐輔	講師対応	大雲 祐子	放送
高野 祥	3-3			De Silva Varuna	選 238
大山 隆久	1-3			Trueblood Taylor	選 238
株本 晃子	救急対応				

ZOOM 2023年1月27日 08:00 AM~

https://zoom.us/j/7530452863?pwd=ck1LUHpaY2Q3Tk1ZVWFNQiNKK0pQUtO9

ミーティング ID: 753 *** ** * パスコード: **** *



2 時程表

前日までに	生徒:発表資料完成と投影するための設定 教員:担当教室(別紙)にて生徒資料を投影するための準備と確認	
1/27	内容	
8:20	自教室で着席 出席点呼	担任:出欠把握 第1部 Zoom 接続(会議室から配信) 各教室 ZOOM サインイン
8:35	開会挨拶 オープニングスライド 流れ説明	校長挨拶
8:40	移動および発表準備 1-2~5は一度発表教室へ移動	担当者:ZOOM 退室 発表準備補助
第1部 今年の探究で学んだことをプレゼンし、意見をもらおう		
8:45	各発表教室で、注意事項や内容の確認した後 後に再移動し、8:55~発表開始 1-2~5 20分で6回転 ・選 238 国際比較 ・1-1 環境教育・健康教育 ・1-2 生物多様性・高校改革 ・1-3 公共交通 ・1-4 化石資源 ・1-5 健康教育・化石資源	1-1, 2年 2号館 1階・2階 各教室 15分で8回転 1-1 37名 2-1 12班 2-2~5 45班 (各クラス 11~12班×4クラス)
10:55	自教室へ移動・着席 第2部発表者は会議室へ	第2部 Zoom 接続 各教室 ZOOM サインイン
外部公開(会議室から配信)第2部 本校生徒が見つけた地域課題から世界を考える		
11:00	代表発表 代表者は会議室から配信、その他生徒は各HR教室で視聴 1年生:代表発表無し 2-1:10分×2班 2-2~5:10分×2班 3年生グローバル代表者:10分×2名	
12:00	講評 高畑由起夫 様 (関西学院大学フェロー)	司会者より講師紹介 探究活動の流れ・スキル・手法、自分の学びへの 評価とさらなる高みを目指すために
12:20	次のアクション グーグルフォームで回収 →「テキストマイニング」で提示 閉会挨拶 諸連絡	* (各自の端末から入力)*QRコードを投影 地域で学んでいる自分たちのアクションを世界に 広げていくために自分たちはこれからの高校生 生活でどうしていきたいか。「あなたの次のアクショ ンは?」 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf6fjP4-PfOOuk7LBTyjEyRPrpeJ5htIbNIPqyOrNGoTOvydA/viewform?usp=pp_url



3 第1部 発表教室と発表順番

(1)1年2~5組 2号館 3階 放送:徳永・大雲

3階	選238	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5
担当教員	坂本	高松・吉良	一原	大山・廣内	松藤	清水
班	国際比較	環境教育 健康管理	生物多様性, 高校改革	公共交通	化石資源	健康教育 化石資源
講師	バルナ	荻野誠 藤原	朴 高橋教頭	足立耕	朝永 足立沙	安達
8:55~ 9:15	[101] 国際1班	[111] 環境1班	[121] 杉岡 高校改革	[131] 公共1班	[141] 化石7班	[151] 健康4班
9:15~ 9:35	[102] 国際2班	[112] 環境2班	[122] 生物1班	[132] 公共2班	[142] 化石6班	[152] 健康5班
9:35~ 9:55	[103] 国際3班	[113] 環境3班	[123] 生物3班	[133] 公共3班	[143] 化石5班	[153] 健康6班
9:55~ 10:15	[104] 国際4班	[114] 健康1班	[124] 高畑 生物2班	[134] 公共4班	[144] 化石4班	[154] 杉岡 健康8班
10:15~ 10:35	[105] 国際5班	[115] 健康2班	[125] 生物4班	[135] 公共5班	[145] 高畑 化石2班	[155] 健康7班
10:35~ 10:55	[106] 国際6班	[116] 健康3班	[126] 生物5班	[136] 高畑 公共6班	[146] 化石3班	[156] 化石1班

関心のあるテーマの教室に移動して、発表を聴きメッセージカードをまとめて質問をする。

ただし、自分の発表の1つ前の発表時間には、必ず発表教室に待機しておくこと。

司会は講座担当教員(生徒から質問が出ないときに一番に質問をしていただく)

計時は、放送で一斉に流して連絡します。8分(1鈴)10分(2鈴)15分(3鈴)17分(4鈴)

発表8~10分、質疑応答・講師講評7~9分、入替3分です。※1人2分は発表する設定

発表者はスライド資料を画面上で共有しながら発表するので、担当教員はエアドロップで回収しておき、教室黒板に画面表示をしてください。

定刻1分前になりましたら下記の進行例に準じて進めてください。

【担当教員自己紹介】(2件目以降は不要)

「最初の発表者は、プレゼンテーション資料の準備をしてください。」

「研究発表開始後、8分で1鈴、10分で2鈴がなりますので、発表終了のめやすとしてください。その後は生徒の質疑応答・講師の講評の時間になります。15分で3鈴、17分で4鈴がなりますので、発表者の入替を3分で行ってください。」

【研究発表の紹介:発表番号、題目紹介】。

【発表終了2分前(8分経過時)に計時係が「残り時間2分です。」とアナウンスします】

【発表終了時刻(10分経過時)に計時係が「発表終了時刻です。」とアナウンスします】

「ご発表ありがとうございました。みなさんからご質問がある方は挙手してください。こちらから指名いたしますので、指名された方は、所属・名前をおっしゃっていただいてから、ご質問をしてください。」

「では、〇〇さん質問をどうぞ。」

「発表者の〇〇さん、ご回答をお願いします。」

【質問がない場合、続かなかった場合は講座担当か講師から質問】

【質疑応答終了時刻(17分経過時)に計時係が「質疑応答終了時刻になりました。」とアナウンスしますので、速やかに質疑応答を終了し、生徒にメモした付せんを教室後ろの模造紙に全員貼るよう指示してください】

(2) 1-1, 2年生 2号館1・2階

2階担当	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	221	
松本修	小林	磯	高野	佐藤	太田	西村	施錠	
8:45~9:00	1-1-1	1-1-2	1-1-3	1-1-4	1-1-5	1-1-6	開錠	
9:00~9:15	1-1-7	1-1-8	1-1-9	1-1-10	1-1-11	1-1-12		
9:15~9:30	1-1-13	1-1-14	1-1-15	1-1-17	1-1-18	1-1-19		
9:30~9:45	2-1-1	2-1-2	2-1-3	2-1-4	2-1-5	1-1-20		
9:45~10:00	2-2-1	2-2-2	2-2-3	2-2-4	2-2-5	2-2-6		
10:00~10:15	2-3-1	2-3-2	2-3-3	2-3-4	2-3-5	2-3-6		
10:15~10:30	2-4-1	2-4-2	2-4-3	2-4-4	2-4-5	2-4-6		
10:30~10:45	2-4-13	2-5-2	2-5-3	2-5-4	2-5-5	2-5-6		
1階担当	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	212		211
西本	田中	田村	大槻	松本弘	松山	中塚		施錠
8:45~9:00	1-1-21	1-1-22	1-1-23	1-1-24	1-1-25	1-1-26	開錠	
9:00~9:15	1-1-27	1-1-28	1-1-29	1-1-30	1-1-31	1-1-32		
9:15~9:30	1-1-33	1-1-34	1-1-36	1-1-37	1-1-38	1-1-39		
9:30~9:45	2-1-7	2-1-8	2-1-9	2-1-10	×	2-1-12		
9:45~10:00	2-2-7	×	2-2-9	2-2-10	2-2-11	2-2-12		
10:00~10:15	2-3-7	2-3-8	2-3-9	2-3-10	2-3-11	×		
10:15~10:30	2-4-7	2-4-8	2-4-9	2-4-10	2-4-11	2-4-12		
10:30~10:45	2-5-7	2-5-8	2-5-9	2-5-10	2-5-11	2-5-12		

※1 各教室の後方出入口は開けたままにしておく

※2 接続方法に注意

1年生:各自のiPadを利用してプロジェクタに接続・投影 アプリは端末にインストール済み

2年生:

1組 各班に surface を配布(12台) surface を利用してプロジェクタに接続・投影

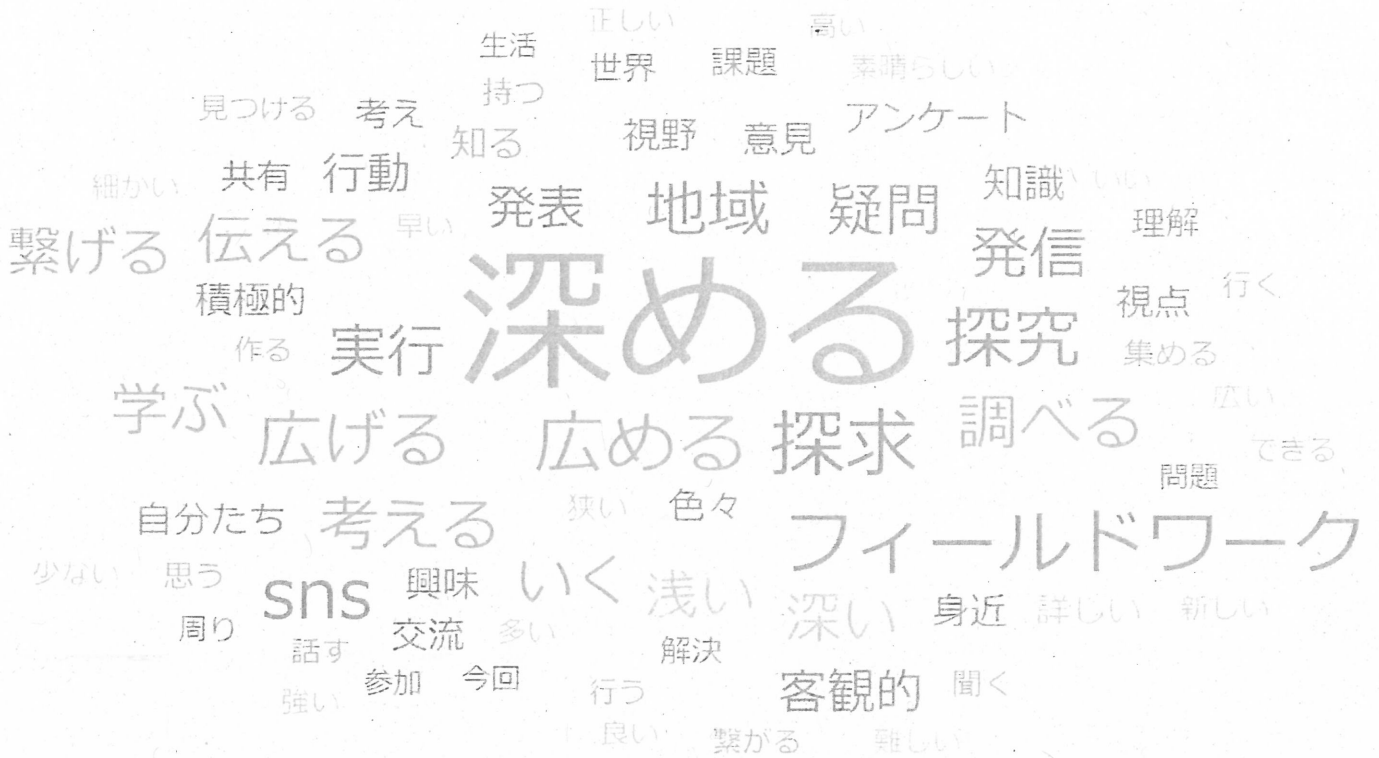
2組 各クラスに ZOOM 接続用に配布した surface を利用。生徒系に保存されたデータを利用

※3 自分の発表の1つ前の発表時間には、必ず発表教室に待機しておく

直前発表がない場合、別教室に行っても良いが、自分の発表が開始時間通りに始められるようにしておく

アクションプラン 結果

ワードクラウド:スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示したもの



共起キーワード文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図

